



2022年度 第19回 同窓会「野のはな」総会のご案内

今年度は、下記のように同窓会「野のはな」の総会を開催し、

会員の皆様とともに楽しく集いたいと思います。

皆様お誘い合わせの上、多数ご出席くださいますようご案内申し上げます。

日時 2022年11月12日(土)

● 10:15 受付開始

受付にてまり制作キットが用意してありますので、体験される方は、そこでお好きな色柄のセットを購入。

● 11:00 総会

●〈1部〉11:45～12:30 昼食会及び懇親会
みどり野会グッズ販売もあります。

●〈2部〉12:45～14:30 てまり制作の体験

【自由参加】
お時間の許す方は、おしゃべりルームも用意します。
楽しいお話を花を咲かせてください。

会費 お1人様 2,000円(当日徴収)

● てまり制作される方

お1人様(別途) 500円(当日徴収)

◎同封の返信ハガキで出欠をお知らせください。

★てまり制作をされる方へのご案内

■キットには、約4cmてまり土台(地割り済み)作り方及び針・糸など全て入っています。

■シニアグラスの必要な方はお持ちください。

■制作は会長他、手芸の好きな野のはな幹事、新卒の野のはな委員が手助けします。ぜひ、童心に帰って挑戦してみてください。

(体験されない方のために、制作キットと完成品のてまりの販売も若干あります)

★注意事項

■コロナ感染状況によっては内容の変更、短縮があるかもしれません、ご了承ください。

■会場の大きさや密を避けるという観点から、参加人数は定員60名といたします。

■先着60名で締め切らせていただきますので、参加希望者はお早めにお願いいたします。
(締切9月30日必着)

■定員になった場合、大きく変更がある場合は、「野のはな」ホームページでお知らせいたしますが、ご不明な点がおありの方はみどり野会事務局まで、お問い合わせください。

■参加取り消しの場合は、2日前までにご連絡ください。無断欠席の場合は実費をいただきます。

※「野のはな」正会員ではない方で総会に出席希望のご友人がいらっしゃる方は、返信はがきにご友人のお名前を記入してご出席ください。当日、正会員になる手続が可能です。

■ お願い

総会のご案内および会報誌は、終身会費納入済みの正会員様のみに送付させて頂いております。お知り合いの中に未納の方がありましたら、下記宛て送金頂き、正会員になって頂くようご案内ください。尚、必ず旧姓・在籍学科・卒業年度または生年月日の記入をお願い致します。

郵便振り込み 12190-71906221

金城学院大学同窓会「野のはな」宛 終身会費／10,000円

〒461-0011 名古屋市東区白壁三丁目2401-6 金城学院白百合館
みどり野会内「野のはな」事務局 tel.(052)931-4480



場所 金城学院
白百合館

〈住所〉 〒461-0011 名古屋市東区白壁三丁目2401-6
〈アクセス〉 名鉄瀬戸線(普通電車)「尼ヶ坂」下車 徒歩3分
市バス「白壁」下車 徒歩5分



*中学校の正門からは入れません。
*駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。



生活環境学部の 課外活動成果報告



生活環境学部
学部長 古寺 浩

このたび2022年4月より生活環境学部長に着任いたしました古寺でございます。日頃は、生活環境学部の教育と研究のために多大なるご支援をいただきまして誠にありがとうございます。心より深く感謝申し上げます。

さて、生活環境学部では、2021年度に221名の卒業生を社会へと送り出しましたが、就職希望者に対する就職決定率は、99.5% (2022.5.1現在)でした。年度が改まりまして、2022年4月には239名の新入生を迎え、4月1日現在の在籍学生数は951名となっています。今後とも「野のはな」会員のみなさまのご支援に応えることができますよう、各学科の学びを活かしながら学生に対する教育・指導を生活環境学部教職員一丸となって進めてまいります。

ここ最近の成果を、課外活動を中心にご紹介させていただきます。生活マネジメント学科では名古屋証券取引所主催「株式投資コンテスト」に出席した2年生(2021.12当時)3名のチームが全国89チームの中で見事に優勝いたしました。また、4年生(2022.1当時)が応募したACAP消費者問題に関する「わたしの提言」についての論文が最優秀賞:内閣府特命担当大臣賞を受賞いたしました。

環境デザイン学科のアパレル分野ではカセラサラフェスタ2022第8回ファッションコンテスト/ファッションデザイン画コンテストで優秀賞2名、空間分野では第28回美濃和紙あかりアート展で2作品が入選、第17回造園コンクールで最優秀賞を含む4名が入賞、第3回愛知建築系大学共通設計競技で優秀賞、かがやけ☆あいちサステイナ研究所成果発表会で最優秀賞・オーディエンス賞を受賞、第19回主張する「みせ」学生デザインコンペで入賞などがありました。

食環境栄養学科では、2021年度卒業生の管理栄養士国家試験合格率が97.3%で、全国養成校新卒合格率92.9%を上回りました。今後も管理栄養士国家試験対策室を中心に勉強会や模擬試験を多数実施し、資格取得支援を継続してまいります。また、連携協定を締結している東谷山フルーツパークでの食育イベントやメニュー提供、食品総合商社の展示会ブース企画など、多くの課外活動にも取組んでいます。

最後になりましたが、「野のはな」会員のみなさまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



野のはな会員様への
感謝と食環境栄養学科の
教育活動報告

生活環境学部 食環境栄養学科
学科主任 薗田 邦博

日頃より、「野のはな」会員のみなさまには多大なるご支援を賜り心より感謝申し上げます。昨年度(2021年度)は、「野のはな」会員様からコロナ禍において困っている学生に対して、ご支援いただき誠にありがとうございました。食環境栄養学科(以下、本学科)は、管理栄養士養成施設の認定を受けており授業カリキュラムに多くの実験実習が入っています。実験実習は、感染予防対策を実施しながら進めてまいりましたが、感染予防対策予算には限りがありました。そのような際、「野のはな」会員様からのご支援により感染防止用のパーテーション、手袋を購入することができ、飲食を伴う実習や器具を取り扱う実験を滞りなく進めることができました。大変感謝しております。また、「野のはな」会員様から支援していただいております「野のはな賞」は昨年度の4年生成績優秀者2名、「野のはな奨励賞」は1年生~3年生の各学年の成績優秀者2名に贈呈させていただきました。このような先輩方からの支援は、多くの学生の勉学に対する励みになっております。

本学科は2002年に立ち上がり、社会に求められている管理栄養士養成を目指して学生教育を進めております。管理栄養士になるためには、管理栄養士国家試験に合格する必要があります。本学科の直近5年間の合格率推移は、2017年度100%(全国平均95.8%)、2018年度100%(全国平均95.5%)、2019年度98.7%(全国平均92.4%)、2020年度94.7%(全国平均91.3%)、2021年度97.3%(全国平均92.9%)といずれの年度も全国平均を上回りました。この高い合格率が続いているのは、学生の日々の努力が実を結んだ結果だと考えております。

本学科の教員におきましては学習環境を整え、きめ細やかな学生サポートができるように努めてまいります。今後とも「野のはな」会員様からの温かいご支援と見守りをお願いいたします。

最後になりましたが、「野のはな」会員様の健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

生活マネジメント学科

生活マネジメント学科では、パソコンを増設させていただきました。従来、ゼミ活動に必要な水準(30台程度)のパソコンを演習室に設置して対面授業を行っていました。しかしコロナ禍により遠隔授業が本格化した2020年4月からは、経済的な理由で個人でのパソコンの所有(自宅使用)が困難な学生に、遠隔授業など教育目的での貸し出しを開始しました。学科はパソコンを学内外で利用するための台数不足に苦慮していましたが、この度のご寄付で改善することができ、大変助かりました。学生からも「遠隔授業に切り替わった際に、自宅で授業を受ける環境が無く、新しくパソコンを購入することも難しかったところ、学科のパソコンをお貸し頂き、遠隔授業や課題などに取り組めたため大変助かりました。同窓会野のはなさまのご厚意に心より感謝申し上げます」との声がありました。

Instagramは
こちら→



生活環境学部に対しコロナ禍の教育に対するご寄付を2021年度に賜りましたことを感謝申し上げます。生活環境学部では生活マネジメント学科、環境デザイン学科、食環境栄養学科それぞれで、ご寄付を有効に活用でき、教育環境をより良いものにできておりますことをご報告申し上げます。本当にありがとうございます。

野のはなは、2020年で20周年を迎える予定でしたが、記念講演などさまざまな企画を計画しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大により、中止せざるを得ませんでした。そこで、コロナ禍のなか、野のはなとして何かできないかと話し合った結果、20周年記念行事に使用する予定だった予算をコロナ禍で困窮する学生や、生活環境学部の感染防止設備などに役立ててもらえばと、200万円を寄付することにいたしました。また、日頃から大変お世話になつていて、みどり野会へ空気清浄機3台を寄付させていただきました。以下、寄付金がどのように使われたか、各学科よりご報告いただきました。

野のはな20周年 記念寄付

生活環境学部へ200万円を寄付させていただきました。

野のはなは、2020年で20周年を迎える予定でしたが、

そこで、コロナ禍のなか、野のはなとして何かできないかと話し合った結果、

20周年記念行事に使用する予定だった予算をコロナ禍で困窮する学生や、生活環境学部の

感染防止設備などに役立ててもらえばと、

200万円を寄付することにいたしました。

また、日頃から大変お世話になつていて、みどり野会へ空気清浄機3台を寄付させていただきました。

以下、寄付金がどのように使われたか、各学科より

環境デザイン学科

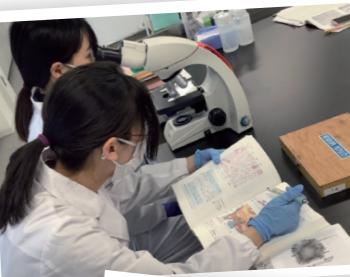
Instagramは
こちら→



食環境栄養学科

食環境栄養学科は、パーティションを購入することができました。

管理栄養士を養成する学科である食環境栄養学科では、調理学実習、応用栄養実習、給食系管理実習など多くの実習で学生が献立作成から調理、試食とその評価を行っています。しかし、新型コロナウイルス感染症への対策の観点から、学生たちが共に食べ、評価のための意見交換をすることにはリスクが大きいことがわかつっていました。そこで調理のみを行い試食はせずに評価し、調理した食事を廃棄することも検討していましたが、パーティションの設置により試食までを行うことができました。また調理系の実習の他、食品学実験、解剖生理学実験、生化学実験などの実験系では、試験管などのガラス器具を学生間で共有し、授業を行います。感染予防のため手袋を着用して実習をしますが、手袋は医療現場でも使用されるため、市場価格が高騰し、購入数を減らすなど苦慮しておりました。ご寄付により手袋を購入することができました。感謝申し上げます。



みどり野会

野のはな設立20周年おめでとうございます。

この度は、空気清浄機3台寄贈いただき、心より感謝申し上げます。白百合館みどり野ホール及び事務室に設置し、大切に使用させていただいております。

コロナウイルス感染症対策が長期化するなか、今後もみどり野会でも感染予防に心がけて参ります。

野のはな会員の皆さんも安心して、お気軽にみどり野会館をご利用ください。

環境デザイン学科

生活環境学部の各学科紹介



環境デザイン学科
学科主任 弓立 順子

環境デザイン学科の学び

環境デザイン学科では多様な人々の視点を取り込む「インクルーシブデザイン」の考えに基づき、着心地の良い衣服、暮らしやすい生活空間についてファッショントピックと空間デザインの2分野でモノづくりを追求しています。4年間を通して社会で活躍する人材育成を行っており、問題解決能力と主体的に学ぶ姿勢を身に付けるプロジェクト型授業「入門演習」を入学直後の1年前期に必修授業としています。企業から提示されたプロジェクトに取り組むことにより、実社会への理解を深めると同時に、今後の自分に必要な知識やスキルに気づき、大学4年間の学びにつなげています。資格取得をサポートしており、2021年度、2級衣料管理士資格に18名合格、色彩検定2級に15名合格、同1級に1名合格、商業施設士に14名合格、インテリアプランナー・アソシエイトに8名合格、インテリアプランナーに1名合格などの実績をあげました。

学生の活動紹介

2021年度もコロナ禍ではありましたが、学生活動が活発に行われました。第28回美濃和紙あかりアート展で2作品が入選、第17回造園コンクールで最優秀賞を含む4名が入賞、第3回愛知建研系大学共通設計競技で優秀賞、かがやけ☆あいちゃんスティナ研究所成果発表会で最優秀賞・オーディエンス賞を受賞、第19回「主張する『みせ』学生デザインコンペ」で入賞など学生たちの活躍が見られました。



世代をこえた「野のはな」をめざして 「野のはな」会長 喜岡 和子(家政13回生)

会員の皆様には、日頃より同窓会活動にご理解とご協力いただき感謝申し上げます。
私たちは、想像もしていなかったコロナ禍を経験し、困難を強いられてきました。残念ながら、楽しみにしておりました「野のはな」20周年記念総会も、2年続けて開催できませんでした。

未だ、コロナ感染終息も見通せず、悲しい出来事も続く世の中ではありますが、今年の総会が、旧交を温め、新しい出会いの機会となればと考えております。

また、自由参加ですが、「円満に」「幸せをもたらす」の意味もある「てまり」の小さなチャーム制作の体験もご用意しております。どうぞご友人をお誘いくださいまして、ひと時楽しんでいただければと思います。

「野のはな」基金

「野のはな」基金は、毎年同窓会「野のはな」より提出されています。学力優秀な学生に対して授与される「野のはな賞」と、学業及び多方面で活躍している学生に授与される「野のはな奨励賞」とがあり、全城学院大学生活環境学部の先生方により管理・運営されています。

【「野のはな」基金の授与】2020、2021年度の「野のはな」基金は下記の通り使途されました。

野のはな賞 生活環境学部に在籍する4年生のうち成績優秀者に贈られます。

野のはな奨励賞 生活環境学部に在籍する1~3年生のうち学業・社会貢献・課外活動で優れた成果を挙げた学生に贈られます。

ボランティア活動

2009年に金城学院創立120周年・金城学院大学設立60周年的記念事業のひとつとして企画された「金城学院ファッション工房」では、障がい者の衣服支援をするボランティア活動を続けています。2021年度は総合在宅医療クリニックに通う障がい児のために、前開きTシャツとパンツ、ロンパースをデザイン・製作しました。素材や安全性にもこだわり、布地の製作を(株)神戸企画(20017年度卒業生)に特注で依頼しました。何度も試作を繰り返し、オリジナルのユニフォームが完成しました。子どもたちは、お揃いの服を着ることができ、大はしゃぎでした。



特別プロジェクト

産学官連携プロジェクトとして東郷町役場地下職員食堂の改修デザイン提案を行いました。愛知株式会社のご協力で学生がデザインした東郷町オリジナルの椅子を作成し、株式会社ウッドワン、ハツ藝術工業のご協力で廃材を使用した装飾壁に挑み、楽しく会話の弾む空間が出来上がりました。

2022年3月に木材の端材やアップサイクルに取組んだサスティナブルなものづくりイベントを久屋大通公園FabCafe Nagoyaにて12 small ideas for SDGsを開催し、3日間で200名近い来場者を迎えるました。

今後も新たな学科の取り組みをご理解いただきと共に、在学生へのご支援をどうぞ宜しくお願い申し上げます。

